

「天元術」を深く研究し、根本的な解決へと導いた天才が関孝和です。孝和は「点竄術」による代数の計算法を発明して、和算が高等数学として発展するための基礎を作りしました。この人を祖とした「関流」が和算の本流として全国に、そして本町にも普及しました。

この関流に先立って、江戸を中心に「中西流」が普及していました。開祖は中西正好で、米沢藩などでも多くの学習者がいたそうです。

時代が進み、山形の会田安明（1747～1817年）の唱えた「最上流」が村山郡一帯、そして町内でも広く学ばれました。安明は、延享4年（1747年）山形市七日町に会田重兵衛の子として生まれ、16歳のとき「中西流」に入門、一時幕府にも仕えましたが、御役御免の後は和算の研究に専念し、多くの門人を育成しました。また、多くの著書を残し、「最上流」を創始、大成しました。「関流」との論争は特に有名であり、その後東北地方を中心に広く普及していきました。

本町の和算家と算額

和算家を知るには、各地の神社や寺などに奉納されている算額を見ることにより、その系統と活躍を知ることができます。本町の和算家としてはまず文新田の服部武右衛門を挙げなければなりません。彼は文新田の素封家である服部家に生まれますが、その生没は定かではありません。武右衛門は中野目に住む佐藤孝大梁の門人でした。師匠の孝大梁には多くの門人がいて、画家との親交もあったことから、武右衛門は本町柳沢の著名な画人、西塔太原の弟子でもありました。当時の和算家と画家との交流があったのは、作図や彩色に画家の力を借りていたためでしょう。

【用語の説明】
素封家…大金持ちの人

※引用 中山町史 中巻
第10章第2節 教育

私たち地域おこし協力隊です！ No.53

～あと2か月となりました～

皆さんこんにちは。伊藤です。

中山町地域おこし協力隊としての活動も残りあと2か月となりました。

本当にあっという間の3年間でした。この3年間多くの方々のご支援、ご協力のおかげで多くの事業に携わらせていただき、さまざまな成果を残すことができましたと思います。本当にありがとうございます。

現在は、協力隊退任後の事業準備を行っており、これからも中山町に残って、地域振興に関わっていけるように努力していきたいと考えております。

また最近では、他市町の協力隊が私の協力隊活動について教えてほしいという問い合わせが増えており、中山町でやってきた活動が他市町のお役に立てるということを大変嬉しく思っております。

皆様、今後ともよろしくお願いいたします。



山形県内地域おこし協力隊交流会IN中山町の様子

●協力隊への問い合わせ先●

伊藤 ☎662-2114（産業振興課）／ 稲垣 ☎662-2235（教育課）／ 高橋 ☎662-2223（総務広報課）